自立活動だより

自立活動部　Ｒ４年１０月　第１号

中津支援学校に通う児童生徒が使用している
主な身体器具の基礎知識について紹介します。

短下肢装具（AFO）について

呼称→AFO=ankle foot orthosis 以前は、SLB=short leg brace

☆短下肢装具の目的と対象となる障がい

・短下肢装具(AFO)は、下腿部と足部を覆い、足関節をコントロールする装具である。座位・立位・歩行姿勢の安定、変形・拘縮の予防などの目的がある。対象は、尖足、内反足、外反足、内反尖足などの足関節と足部の障がいである。

☆主な短下肢装具の種類（本校児童生徒は主に２種類）

〇金属支柱付き AFO（写真①）

・金属の支柱をもつ AFO である。本校では両側支柱タイプを装着している児童・生徒が多い。支柱が金属なのでホールド力が高く重量感があり、歩行練習の際に安定感はあるが、装具自体は重くなってしまっているので慣れるまで装着しにくさを感じることもある。近年は、支柱にチタンやカーボンを用い、軽量化した AFO も開発されている。

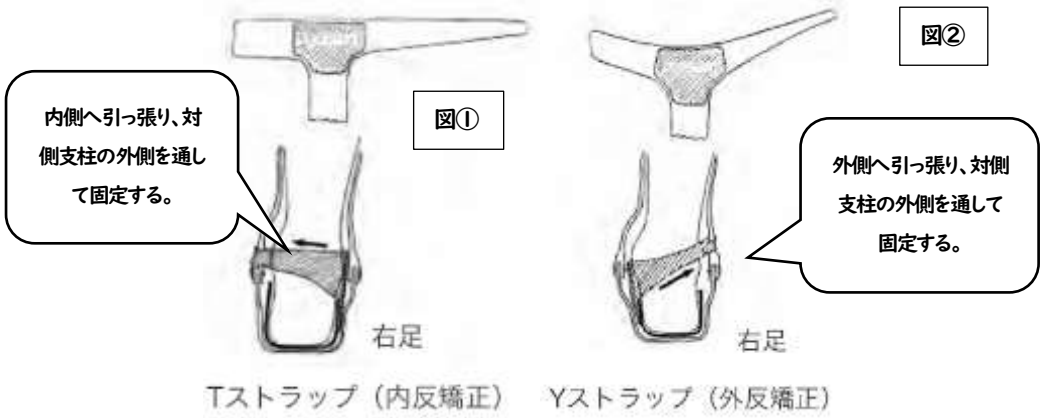
〇プラスチック AFO（写真②・③）

・プラスチック AFO は現在、最も多く製作されている下肢装具である。さまざまな形のものがあり、使われる素材によって機能も異なる。軽量なので装着しやすいのが特徴。

☆装着時の注意点

・装着の際は、足底部分をしっかりと装具に固定し、そのあとベルトなどで下肢を固定させる。適当な装着を行うと装具の中で足が動いてしまうことも考えられるため。

・金属支柱付き AFO にはかかと部分に確認用の穴が開いている場合がある。装着時にかかとまでしっかりと納まっているか確認するとよい。

・T ストラップ（図①）や Y ストラップ（図②）のついた金属支柱付き AFO は用途に合った装着方法があるので注意が必要。

【参照】